

# きしぼう

——— 基本理念 希望のある医療 ———



## 院長あいさつ

当院では、市民のみなさまの健康増進・維持、予防医療に関して市・医師会との相互連携のもと、完結医療を目指した医療に取り組んでいます。しかしながら、現在、医療を取り巻く環境はことのほか厳しく、国の医療費抑制策が本来第一に考えなければならない患者さまへの受診機会を減少させる形となっています。

なかでも、高齢者の方への影響は顕著で、病気が進んでから救急車で搬送される患者さまが急増しています。当院では迅速に安全で高度な医療が提供できるような救急医療体制の構築に向け整備を進めています。

以前より申し上げておりますように、当院に与えられた使命、すなわち「真に患者さまの医療」を実践すべく、地域での医療の役割分担を進め、高度で精密な検査や救急治療を要する患者さまは当院で入院治療を行うような診療体制の確

立をめざすとともに、在宅医療・支援におきましても医師会との連携を図りながら、相互の機能を有効に活用したサポート体制を構築していきたいと考えております。

院長 玉田文彦



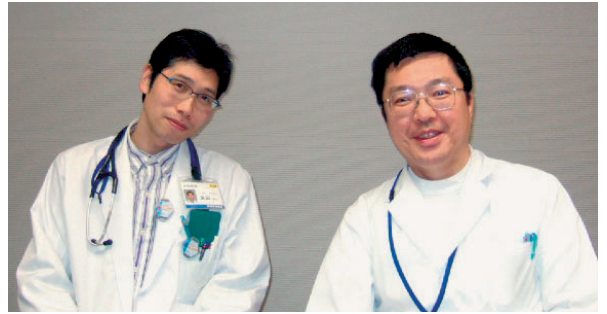
刷と姥 ~ 高砂市が発祥の地です ~

# 診療科紹介

## - 内科 -

### 内科、消化器科

内科では、井垣医務局長を中心として、一般内科をはじめ消化器疾患、糖尿病、腎臓疾患などの専門分野まであらゆる内科疾患に対応できるよう、15名の医師による診療体制をとっています。



医長 来田和久

部長 廣末好昭



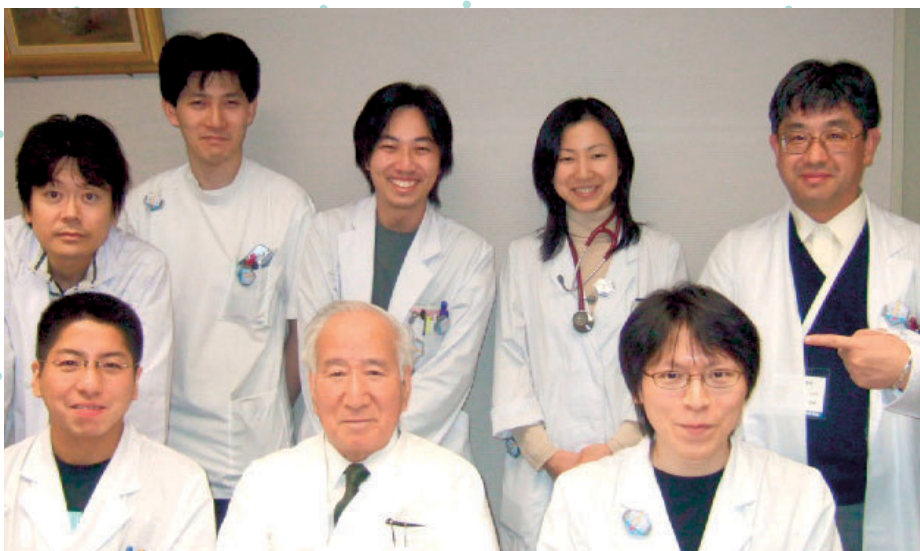
院長 玉田文彦

消化器科としては、胃や腸、肝臓、胆のう、すい臓などを扱い、各種の内視鏡検査、レントゲン検査、超音波検査に対応しています。また内視鏡下腫瘍切除術、総胆管結石術、白血球除去療法など広い範囲の消化器疾患に対する治療が可能です。

糖尿病治療においては食事療法からインスリン治療まで個々の病態に合わせたきめ細かな治療法を検討しております。患者さま自身が主体性ある自己管理ができるよう、毎月1回4～5名を対象に糖尿病教育入院も行っています。ここでは医師、看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士による集団、個別指導を行っています。

腎疾患治療においても、急性および慢性腎炎をはじめさまざまな腎疾患を取り扱っています。特に最近増加傾向にある糖尿病性腎症に関しては総合的、専門的に対応しており、保存期から末期腎不全の透析導入、合併症対策まで集学的な治療を行っています。また、腎生検入院、透析前準備入院にも常時対応しています。さらに、腎不全患者さまを対象に教育入院も行っており腎不全の進展阻止を遅らせるための指導を行っています。

内科部長 廣末好昭



副医長 前田賢吾

後藤俊介

横田一樹

田中真紀

医務局長 井垣直哉

竹本利行

名誉院長 後藤武男

駒場大峰

## 循環器科の紹介

循環器科は國吉部長をはじめ、4名のスタッフで診療にあたっています。虚血性心疾患(狭心症、心筋梗塞) 高血圧、不整脈、弁膜症、心筋症などの疾患を対象にアイソトープ、超音波、ホルター心電図などの検査にて診断し、治療を行っています。



心臓カテーテル検査中



医長 岡本良之 医長 林 孝典 医長 小林憲恭  
部長 國吉達也 臨床研修医 横道洋司

特に、心臓カテーテル検査の必要な患者さまには、至急入院していただき、最適な治療を受けていただけるよう、最善を尽くしています。

心臓カテーテル検査では、手や足の動脈から、カテーテルを挿入し、それを心臓まで到達させ、これにより、心臓に分布している冠動脈の狭窄の程度を判断します。狭窄が強い、あるいは閉塞病変があれば、血管を広げる治療を行います。(心臓カテーテル検査は年間250~300件、治療は約100件)

血圧が高い、胸が痛い、胸に圧迫感がある、脈がとぶ、動悸がする、息苦しいなどの症状のある方は、受診されることをおすすめします。

内科医長 林 孝典

## 睡眠時無呼吸症候群 ~ sleep apnea syndrome ~

睡眠時無呼吸症候群とは、睡眠時に無呼吸や気道狭窄による低呼吸が繰り返し起こり、そのため熟睡感が損なわれたり、昼間の眠気といった自覚症状がでる病態です。有病率は男性で3.28%、女性で0.5%といわれ、放置すれば高血圧、不整脈、脳梗塞、狭心症、心筋梗塞をひき起こすこともあり、夜間突然死との関連も指摘されています。

### 睡眠時無呼吸症候群を調べる検査には

#### 簡易型睡眠ポリグラフィ(スクリーニング検査)

疑いがある場合に行い、自宅(機械を持ち帰る)での検査となります。

#### 終夜睡眠ポリグラフィ(精密検査)

強く疑いがある場合に行い、入院(1泊2日)での検査となります。簡易型と違い、脳波、筋電図、眼球運動等を記録します。痛みや危険を伴う検査ではありません。



### 睡眠時無呼吸症候群の治療には

#### CPAP(鼻腔持続陽圧呼吸療法)

睡眠時に鼻マスクを装着し、陽圧を持続的に負荷し咽頭部を拡大させます(鼻から空気を送ります)。在宅で行い、月に1度の定期診察が必要です。

#### 口腔内装置

歯科でマウスピースを作り、睡眠時に装着します。下あごを数mm前方に移動させて上気道虚脱を制御する方法です。

#### 耳鼻科治療

上気道内径を拡大させる軟口蓋・口蓋垂・咽頭形成術を行います。

簡単なチェックを行うアンケート用紙を病院の各フロアに常備していますのでご利用ください。病院ホームページにも掲載しています。

内科部長 國吉達也・中央検査科長 坂野啓一

## 4月より形成外科を開設します！

兵庫県内で形成外科のある病院は非常に少なく、おそらく多くの方が形成外科とは何をするとところか知らない、というより名前さえ聞いたことがないというのが現状かと思えます。名前の響きは整形外科と似ていますが、かなり内容は違います。一言で表現するのは難しいのですが、「見た目に関わる部分を治療する科」というのが一番的確な表現となります。



治療後



例えば、ケガや手術などでできた傷跡を目立たないようにしたり、アザやホクロなどを綺麗にしたりします。またヤケドや顔・手足のケガなどを受傷後初期より特別な治療を行うことで出来るだけ目立たないように治すことも行っています。

専門的なところでは、顔の骨(ほほ骨や鼻骨など)の骨折や、顔面・手足などの変形、乳ガンでの乳房切除後の欠損・変形に対する治療も形成外科の分野となります。

今まで特に日本では、ケガや病気が治って命が助かれれば、多少の傷跡や変形が残ってもいいじゃないか、見た目についてとやかく言うのは情けない、などと思われがちで、それに対する治療が行われず、苦しい思いをされる方が多くおられました。しかしこれからは、せっかく病気やケガが治ったのだから、元気に明るく人前に出ていけるように、また生まれ持ったアザや変形によって苦しむ方がいなくなるように、そのために形成外科がお役にたてれば幸いと考えています。

## 特殊外来紹介

### - 下肢静脈瘤外来 -

下肢静脈瘤とは、足の血液が逆流して静脈内に溜まってしまい、皮下の静脈が太くなってコブのようになってしまう病気です。その結果、足がだるい、うずく、こむら返りを起こす、皮膚の色素沈着を起こすなどの症状が出現します。病気が進行すると皮膚炎や皮膚潰瘍ができることもあります。長時間の立ち仕事をする人に多く、出産後にできることもあります。治療としては、入院のうえ、下半身麻酔で静脈を取り除く「静脈抜去術」と 外来で局所麻酔にて静脈の根元をしぼる「静脈結紮術」があります。いずれも1ヶ月後には、薬(硬化剤)を注射して人工的に炎症を起こして静脈瘤をなくしてしまう「硬化療法」を行います。の方が再発が少なく、お勧めすることが多いです。また、弾性ストッキングを着用してもらうことがありますが、静脈瘤の予防や悪化防止のためであり、根本的な治療ではありません。

気になる症状がありましたら、外科外来までご相談ください。



外科医長 的場保巳

# おしっこの調子はいかがですか



これは国際前立腺スコアという排尿の具合を調べるものです。  
前立腺疾患だけでなく女性の排尿障害の指標に使われています。

あなたの排尿状態をチェックしてみませんか。目安として、1～7点は軽症、8～19点は中等症、20～35点は重症となります。排尿でお困りの方は一度、泌尿器科にご相談ください。

国際前立腺症状スコア：IPSS

合計スコア \_\_\_\_\_ 点

最近の排尿について	ない	あまりない (5回に1回より少ない)	時々ある (2回に1回より少ない)	2回に1回 くらいある	しばしばある (2回に1回より多い)	ほとんど いつもある	IPSS
排尿開始時に、いきむ必要がありましたか。	0	1	2	3	4	5	点
排尿途中で、尿がとぎれることがありましたか。	0	1	2	3	4	5	点
尿の勢いが弱いことがありましたか。	0	1	2	3	4	5	点
排尿後に、尿がまだ残っている感じがありましたか。	0	1	2	3	4	5	点
排尿を我慢するのがつらいことがありましたか。	0	1	2	3	4	5	点
排尿後2時間以内に、もう一度トイレに行くことがありましたか。	0	1	2	3	4	5	点
夜寝てから朝起きるまで、何回排尿に行きましたか。 (夜間の排尿回数=点数)	0回	1回	2回	3回	4回	5回以上	点

## 糖尿病食事療法のご案内

糖尿病は食事療法が治療の基本となり、決められたカロリーを守りながらいろいろな食品をバランスよくとることが大切です。糖尿病教室では管理栄養士が工夫したメニューを実際に調理し、試食していただいています。

みなさまからの質問にもお答えしていますので、糖尿病の方はお気軽にご参加ください。



～動脈硬化を防ぐためのメニュー～ 1例

メニュー内容	エネルギー	塩分	食物繊維
ポン酢ご飯	247Kcal	1.2g	2.5g
マグロのカルパッチョ風	147Kcal	1.3g	1.4g
ブロッコリーの豆腐ソースかけ	96Kcal	0.2g	3.1g
なめこの味噌汁	18Kcal	0.7g	1.8g
なまふ 生麩のあべかわ風	69Kcal	0g	0.5g

食事療法の申し込み・電話でのお問い合わせ先  
腎センター TEL.0794-42-3981  
(内5595)

受付時間 10時～15時(土日祝祭日を除く)  
担当 溝口

# リスクマネージャー(RM)の活動

当院では、院内の各部署にリスクマネージャー(RM)が配置され患者さまに対する安心、安全な医療が行えるよう日々活動しています。毎月、委員会が開催されており、ヒヤリハットおよび事故報告のひとつひとつに対して要因分析、改善策の立案などを行っています。

他の活動として、医療事故防止のための要点と対策の策定と改訂、転倒転落事故防止内部監査チーム、誤薬(注射・点滴)事故防止内部監査チーム、医療安全強化月間(人工呼吸器、中心静脈カテーテルなど)によるキャンペーン、全職員を対象とした活動報告会(年2回)などがあげられます。

特に内部監査チームにおいては、内部監査による評価、見直し計画提案マニュアル作成、実施運用までエネルギッシュな活動を続けています。

また、患者さまの安全を最優先とする「安全文化」の構築を目指した院内広報誌「他山の石だより」を定期発行しています。

リスクマネージャー委員会  
委員長 見須 英雄

## 他山の石だより

他山の石ってなあに？



人の振り見て我が振り直せってことね。

自分の石を磨くのに役立つ他山の石という意味なんだよ。言い換えれば、自分の人格を磨く助けとなる他人の言動や、自分にとって戒めとなる他人の誤った言行的ことなんだ。



## 患者さま満足度調査

平成17年10月に第2回目の満足度調査を実施しました。調査の結果や多くの患者さまからのご意見を真摯に受けとめ、患者さまに満足していただけますよう、より一層の努力をしております。

### 結果抜粋(第1回 第2回)

#### 診療までの待ち時間はどれくらいかかりましたか？

1 29分以内	22%	35%
2 30～59分	37%	28%
3 1時間以上	41%	37%

#### 医師の説明はいかがでしたか？

1 わかりやすかった	35%	42%
2 普通	52%	48%
3 わかりにくかった	7%	6%
4 わからない・評価できない	6%	4%

#### 医師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	47%	45%
2 普通	44%	47%
3 悪かった	6%	3%
4 わからない・評価できない	3%	5%

#### 看護師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	45%	55%
2 普通	43%	34%
3 悪かった	11%	8%
4 わからない・評価できない	1%	3%

#### 検査技師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	34%	40%
2 普通	58.5%	57%
3 悪かった	4%	0%
4 わからない・評価できない	3.5%	3%

#### 放射線技師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	29%	43%
2 普通	62%	52%
3 悪かった	4%	0%
4 わからない・評価できない	5%	5%

#### 薬剤師の対応はいかがでしたか？

1 良かった	35%	38%
2 普通	59%	50%
3 悪かった	4%	1%
4 わからない・評価できない	2%	11%

#### 院内の印象はいかがでしたか？

1 良い	38%	45%
2 普通	58%	45%
3 悪い	4%	10%

ご協力ありがとうございました。

# 開放型病床(オープンベッド)をご利用される患者様へ

## 開放型病床(オープンベッド)って?

開放型病床(オープンベッド)とは、地域のかかりつけ医師と当院が連携して、地域のかかりつけ医師から紹介していただいた患者さまに対し、最善の治療をおこなうため、双方が協力して診療診断にあたるものです。

今までは、紹介状をご持参いただいた患者さまに対し、紹介先の医師に代わって当院の医師が主治医となり、診療をおこなってきました。

しかし、開放型病床では、地域のかかりつけ医師が患者さまの担当医として、当院の主治医とともに協力して共同診療にあたっていくことができます。

患者さまに開放型病床を利用いただくことで、一貫した継続的で合理的な医療が提供できるものと考えています。



## 開放型病床のメリットは?

当院の主治医と地域のかかりつけ医師が共同診療に当たりますので、当院退院後も一貫性のある継続した診療を受けることができます。

当院の主治医と地域のかかりつけ医師が共同診療に当たりますので、重複した診療が行なわれなくなります。

## 費用について

開放型病床に入院し共同診療をおこなった場合の詳しい費用負担については、地域医療連携室にお問い合わせください。

## 新任医師紹介

平成18年1月採用



眼科部長：菅原いく子

趣味 読書

21年ぶりの転勤で当院に参りました。新しい気持ちで頑張りたいと思いますので、よろしく願い致します。



皮膚科：喜多川千恵

趣味 温泉めぐり、バイオリン

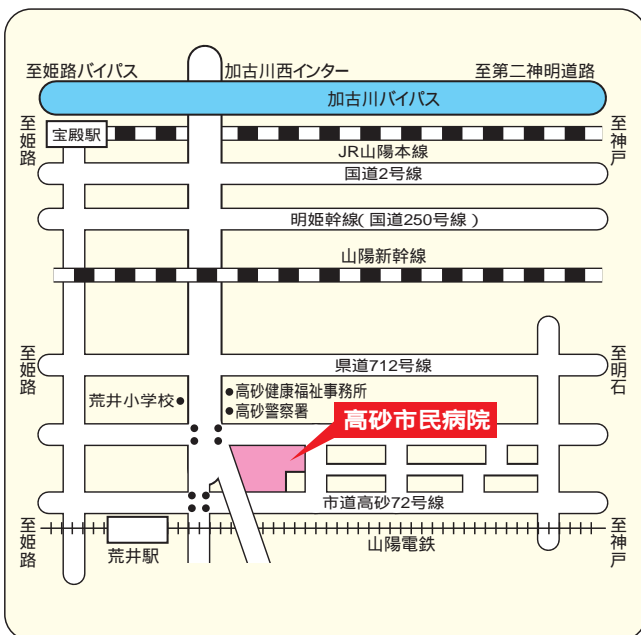
いつでも笑顔で頑張りたいと思います。経験も浅いですが、皆さんよろしく願い致します。

診察開始 9時～  
診察受付 8時30分～11時

# 週間外来診察予定表

平成18年3月現在  
診療予定は予告なく変更する場合があります。

診療科		月	火	水	木	金	
内科	1診(初診)	午前	岡本	廣末	玉田	来田	國吉
	2診(初診外)	午前		林	井垣	小林	前田
	3診	午前	来田	小林	後藤(武)	後藤(武)	林
	4診	午前	井垣	玉田	岡本	前田	
	5診	午前	廣末	後藤(俊)	粕本	田中	廣末
	6診	午前	國吉		竹本	駒場	横田
神経科	1診	午前	三宅		三宅	三宅	三宅
	2診	午前	荒木	荒木	荒木	荒木	
小児科	1診(9時～)	午前	見須	表利	見須	表利	見須
	2診(10時～)	午前	表利	見須	表利	見須	表利
	予約診(14時～)	午後	表利	見須	表利	見須	表利
				予防接種	乳児検診 (2,4,5週)		
外科	1診	午前	的場	稲尾	渡部	大上	竹村
	2診(初診)	午前	渡部	大上	大野	的場	大野
整形外科	1診(初診)	午前	池田	振角	坪田	当番医(初診のみ)	杉本
	2診	午前	本間	池田	本間		池田
	3診	午前	振角	武部	振角		武部
	4診	午前	杉本	坪田	杉本		坪田
脳神経外科	1診	午前	休診	森川	林	森川	森川
皮膚科	1診	午前	池田	喜多川	池田	喜多川	池田
	予約診	午後					アレルギー
泌尿器科	1診	午前	松井	神大医師	(予約再診のみ)	神大医師	松井
産婦人科	1診	午前	太田	太田	市村	太田	市村
眼科	1診	午前	繪野		菅原(繪野)	菅原	繪野
耳鼻咽喉科	1診	午前	寺本	寺本	寺本	寺本(初診のみ)	寺本
放射線科	1診	午前		石田	石田	松本	
	2診	午前		松本	松本	石田	



下記の外来は予約制です。

下肢静脈瘤外来(外科): 水曜日 15時～  
 きびを対象としたケミカルピーリング(皮膚科): 第1・3水曜日 14時～  
 スポーツ外来(整形外科): 金曜日 14時～15時30分  
 女性専門外来: 火曜日 13時～15時

## 交通手段

- [鉄道] 山陽電車荒井駅下車徒歩3分
- [バス] 神姫バス高砂市民病院前下車すぐ  
じょうとんバス高砂市民病院前下車すぐ
- [車] 加古川バイパス加古川西インターから南へ約10分

編集・発行

高砂市民病院広報編集委員会

〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号

☎ 0794-42-3981(代表)

http://www.hospital-takasago.jp